



埼玉県 / 根岸 翼 (32歳)
社外エアロモディファイは多い。ゆえに、純正バンパー×オバフェンというスタイルでDUP。とはいえ、単なる純正バンパーではなく、わざわざFRPで型を抜き、短縮加工やモールレス化しており、費用は社外エアロを買った方が断然安い。低車高も自慢で、メンバーを上げ、燃料タンクを移設し、配線も室内に引き直した。車高調&アームはTディメで構築。この低車高もそう簡単には真似できない。

このイベントで、僕的に大収穫だったのが、埼玉県の根岸兄弟と出会えたこと。兄ちゃんは18マジエスタ、弟は30セルシオに乗っているんですけど、彼らは人とは違うセンスを持っていて、2人ともめちゃめちゃ情熱的で、ホンマ、会えて良かったなって思いました。2台共、弟がプロデュースしていて、「シンプル仕様」がドレスアップのテーマ。バンパーはモールレスにして、さらに、ドアパネも消去しているのがポイント。



この日のためにタイヤ&足まわりの点検をしてきたが、道中にバースト。フェンダーが……。しかし、大きな事故にはならなかったのが、何よりだ。

しさに繋がって、「めっちゃめちゃええやん！」って思いました。「モールとドアパネを埋めるっていうのが、一番勇気が必要だった箇所です。大丈夫かなって。完成した今は一番の自慢点なんですけど、そこを大林サンに褒めて貰えて凄く嬉しいです」と根岸兄弟。なぜ、のっぺりせずに、カッコ良

「驚くほど美しい当時風仕様の14マジエスタ」



埼玉県 / 根岸 涼 (28歳)
自作とは思えない高完成度。モール&ドアパネを消去して、究極のシンプル仕様に。のっぺり感が皆無の理由は全体のバランスが優れているからで、エアロの短縮やオバフェンの出幅などが秀逸。ちなみに、エアロはナンバー上とリップの2箇所を短縮して整えたそう。大林サンはハンドルが全切りできる点も絶賛。「本当に走れるの!?」って思わせる。この低さでちゃんとハンドルが切れるっていうのが偉いです。

くなっているのか。それはバランスが優れているからなんです。オバフェン、高車高、バンパーの丈、それらが絶妙に合わさっていいから、不自然さが無い。あと、僕がいいなって思ったのは、2台共、ハンドルが全切りできること。僕のオーナー時代は当たり前のこと。そうじゃないと認められなかった。でも今は……。だけど、

彼らはそこにもちゃんとこだわって、偉いなって思いました。「走る・止まる・曲がるができないとクルマじゃない。足まわりは車高調で、常にこの車高で走っています。そして、ハンドル全切りできるのは、この1箇所だけ。何度も何度も調整して、ようやく辿り着きました。ちょっとでも出幅が変わったら、何かが変わると当たり前です。」



K.BREAK Kazuki Ohbayashi 大林 一樹

「ちょっと真面目な話。どんなにメンテしても、事故する時はする。だから、道中はスピードの出し過ぎに、必ず注意してくださいね。」

K.BREAK 大林 一樹の おおもりのごはん

イベントサイコー

5月13日に福島県で開催された「桜杯」。毎年、このイベントに参加しているんですけど、アットホームな雰囲気があるので、初心者サンたちを優しく受け入れてくれるのが魅力です。そして、今回もいい出会いがありましたよ。こういう交流ができるので、やっぱり、イベントっていいですね！

ちなみに、弟の本業は大工さんで、クルマ製作は趣味でやっているそう。板金屋サンに聞きつつ、独学で技術を身につけたらしい。今回はしょっくん(スバークフライン)とよっち(水野ボデイワークス)の3人で一緒に見て歩いたんですけど、2人ともフェンダーを褒めていて、デザインだけじゃなく、技術的な部分もなかなかいいみたい。



会場は滝桜駐車場。周りに緑に囲まれたのどかな雰囲気。全国から数百台が大集結。セダン・ワゴン・軽のオールジャンルでしたが、特にセダンが多かった。「時折、雨も降りましたが、オーナーたちはとっても楽しそうでしたよ。」

今回の桜杯では、僕が大好きな14マジエスタにも出会えました。このクルマって、実は27歳の女性がオーナーなんです。シビれるでしょ。今日は本人はお仕事で、代わりにお父さんが乗って来たそうです。

「独自の感性をカタチにした18&30系」と

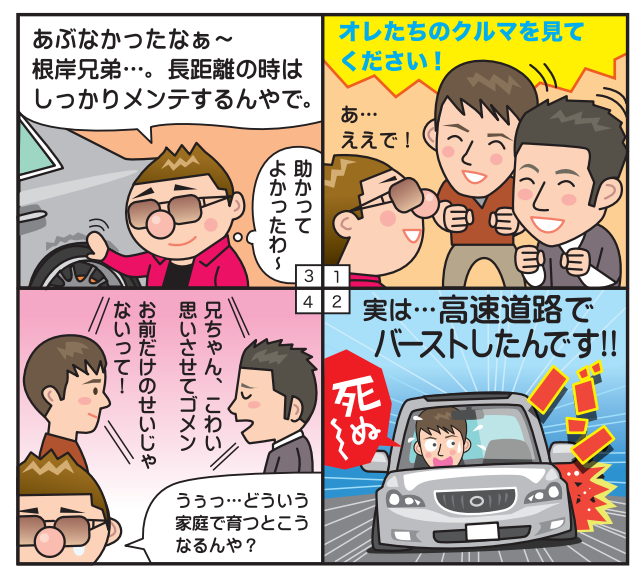
「これは娘と一緒にやろう！」って言ったのがきっかけで、作ったクルマなんです」とお父さん。しかも、全然知らなかったんですけど、18年前に僕と佐藤サン親子は出会っていたそう。「Kプレイクを立ち上げたばかりの時、幼い娘(当時9歳)と一緒に赤マジェを見学して、ステッカーも買ったんです。その時に大林サンと一緒に写真も撮って貰ったんですよ。それ以来、娘も大林サンの大ファンになって。そして、このクルマは3年間かけて作ったんです。完成したら絶対に大林サンに見て貰って、また写真も撮って貰おう」と、娘と話していたんです。

「いいね」の数が凄かった。僕が普段あげている写真よりも(笑)。僕にとってはエピソードもめちゃめちゃ嬉しいんですけど、今の時代に、こんなにキレイでカッコイイ14マジエスタを見られるっていうのも凄く嬉しい。たぶん、それはみんなも同じで、だから、「いいね」の数が半端じゃなかったんだらうなと思って。バンパーはエボV3。僕の赤マジェもそうだったんですけど、リップを軽く延長して、これもツボだし。フェンダーの作りもキレイで、チリもパンシと合っていて、文句の付けようがない。しかも、ホイールはファイブスタ。カッコイイ14マジエにファイブスタを履かせてくれた、ホンマにありがたいです。

投稿募集中

「僕もKプレイクの大林サンに愛車を評価して欲しい!」と思った方は、ぜひ編集部まで写真とアンケートを郵送してください。大林サンが愛情をたっぷり添えて、キミのクルマを全国の人に紹介してくれますよ。

「根岸兄弟はいい子」の巻



あぶなかつたなあ～根岸兄弟…。長距離の時はしっかりメンテするんやで。助かってよかったわ。お前のせいでいいよ。兄弟やん、こいつは思ってた以上にメンテするんや。ううっ…どうう家庭で育つところなるんや?



何よりもキレイさがピカイチな14マジエスタ。イジリは当時風で、エアロパーツは横かしのエボリューションV3。フロントはリップを延長し、サイドにはダクトを追加している。旧車意識でオイルクーラーも設置。ちなみに、ダミーではないのも自慢。ホイールは一目惚れしたKプレイクのファイブスタで、抜群の似合い度。ボディカラーはキャンディパール。120φ4本出しの露ね上げマフラーも、この14マジエにピッタリとマッチ。